

# 第1回 わこう翔裕館（グループホーム・看護小規模多機能型居宅介護）運営推進会議 議事録

|      |  |
|------|--|
| 開催日時 | 平成29年8月31日（木） 14:00 ～ 15:00  |
| 開催場所 | 看護小規模多機能 1階デイルーム   |
| 参加者  | 民生委員<br>ご家族等<br>地域交流施設ひまわり理事<br>わこう翔裕館施設長 塚田 浩<br>わこう翔裕館職員 木村 ちせい、柳澤 健悟<br>長寿あんしん課職員<br>北第2地域包括支援センター長 |

記録： わこう翔裕館職員 柳澤 健悟

## 【議題1】利用者の状況

<概要>平成29年5月1日わこう翔裕館オープン。グループホーム（2ユニット・18名定員）は介護職員配置の都合上2階ユニット（9名定員）より受け入れ開始しました。5月31日で8名入居。6月1日より3階ユニット（9名定員）受け入れ開始し6月30日で10名入居の合計18名の満床となりました。（待機利用者は現在無し）また、看護小規模多機能型居宅介護（29名登録定員）は6月1日より受け入れ開始しました。6月：5名、7月：6名、8月7名の利用登録の状況です。

8月30日現在の要介護度別利用者数

|          | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 |
|----------|------|------|------|------|------|
| グループホーム  | 5    | 5    | 4    | 4    | 0    |
| 看護小規模多機能 | 3    | 3    | 1    | 0    | 0    |

単位：人

## <主な質問、意見等>

質問①看護小規模の利用者数は？またどの様な方が使っているのか？

回答 本日新規2名契約で登録者合計数9名となった。利用者は要介護度1、2の方が多く、看護師が中心となり服薬介助、機能訓練を中心に行っている。

質問②看護小規模の利用頻度は？

回答 介護保険で介護報酬は1か月単位の定額となっている。利用回数は訪問、通い、泊まりをケアマネージャーがケアプランにてその方の支援を計画し組み合わせて利用してもらっている。現在の利用者の方はほとんど毎日サービスが入っています。

質問③1件の訪問にどの程度の時間を要するのか。

回答 1件の訪問につき15～30分程度。内容によっては1時間程度かかる事もあります。

## 【議題2】行事及び事業報告

<概要> 事業運営の基本方針：私たちは、高齢者社会で果たす役割の重大性を自覚し、明るく元気ですこやかなヒューマンライフを支えます。

・グループホーム… 明るく家庭的な雰囲気の中で利用者の方々が落ち着いて生活出来るような日々プログラムを提供するようにしています。特に2階ユニットでは、バルコニーを有効活用し、洗濯物干しから取り込み畳む作業を皆さんで行っています。また、毎週月曜日は栄養士・厨房職員の補助のもと「手作り調理」を実施しています。主な内容は、焼きそば・お好み焼き、いなり寿司、ハンバーグ、冷やし中華、サンドウィッチ、焼肉など。

その他 うめぼし体操、脳トレ、外気浴（散歩）、園芸などのレクリエーションも行っています。

・看護小規模多機能… 看護師が現在5名（常勤4名、非常勤1名）勤務しています。看護師を中心にリハビリ運動・体操、健康管理（バイタル測定、排泄状況、食事・水分摂取量、体重測定）、服薬管理を行い、在宅生活をサポートしています。わこう翔裕館の看護小規模の特色は、看護師が訪問だけではなく、送迎から入浴介助、排泄介助と密接に利用者に関わることで、生活機能の向上に大きく関わることが出来ています。

<主な質問、意見等>

塚田施設長より⇒関東サンガの名前の由来について⇒仏教用語で「サンガ」＝「仲間」。

質問①3階のレクリエーションは具体的にどのような事を行っているのか。

回答 上肢・下肢の体操、合唱が中心。

質問②GHで外食レクを行う事は可能か。

回答 現在は派遣職員の割合が多く未実施であったが、10月末には派遣職員から直接雇用の職員となるため、外食レクを実施していく。

質問③防災訓練の実施は。

回答 年2回実施（消防設備の点検は業者委託）今年は11月に防災（避難）訓練実施予定。

## 【議題3】事故報告

<概要> 現在、事故防止・感染症対策委員会を立ちあげ、月1回活動しています。

事故発生時はその事故の大小に関わらず、全て関東サンガ社内マニュアルに従い、報告書にて本部報告と職員回覧しています。また、和光市にも報告しています。

・看護小規模多機能… 6～8月において事故発生件数は0でした。

・グループホーム… 6～8月において事故発生件数は15件でした。

内訳： 転倒 8件、薬に関する事（飲み忘れ、落薬、日付間違い）6件、離脱 1件

再発防止策： 薬に関する事故が多い。服薬マニュアル作成、看護師による指導を行う。10月にはグループホームで「服薬支援ロボット」を導入し、誤薬事故防止に努めていきます。

<主な質問、意見等>

北第2地域包括支援センター長

和光市への事故報告書提出について、今後転倒に関しても事故報告書の提出を必ず行う事。分析してケアプランの指導に活用していく。

質問①服薬ロボットの金額は。

回答 費用については、グループホームに入っている訪問薬局の会社が負担する事になっています。(薬局と契約している事が条件です) 服薬ロボットを導入し薬の事故防止に努めていきたい。

#### 【議題4】地域連携の取り組み

<概要> 地域交流施設ひまわりの定期開催プログラム(体操、楽器演奏会、絵手紙など)に数名で参加させてもらいました。また、7月22日(土)には夏祭りイベントがありました。9月23日(土)は、わこう翔裕館単独にて「敬老会」を実施します。(祝寿表彰、お祝い御膳)

<主な質問、意見等>

民生委員

施設で何かイベントがある際には、予定が合えば協力します。

#### 【その他 連絡事項】

・9月1日付にて施設長(グループホーム・看護小規模多機能管理者)変更があります。

栗田 俊平

・看護小規模多機能 自己点検 年1回

・グループホーム 第三者評価 年1回 5年継続すれば各年毎

#### 【次回開催日時等】

定期日程を決めて開催したいと思います。2ヶ月毎の定例開催(偶数月)で毎月第1水曜日で決定。場所は地域交流施設ひまわり。

<日時> 平成29年10月4日(水) 14:00 ~

<会場> わこう翔裕館 地域交流施設ひまわりにて